

# ソニーグループのAI倫理活動

## Sony Group AI Ethics Activity

ソニーグループのAI利活用のさらなる加速推進のために

To accelerate and promote AI development and utilization  
of the Sony Group

# Sony's Purposeと創出価値

## Purpose

存在意義

クリエイティビティとテクノロジーの力で、  
世界を感動で満たす。

## 創出価値

- 1 感動体験で人の心を豊かにする
- 2 クリエイターの夢の実現を支える
- 3 世の中に安全・健康・安心を提供する

# Purposeをコアとする6つの事業セグメント



\*Game & Network Service

\*Entertainment Technology & Solutions

\*Imaging & Sensing Solutions

主要製品・ブランド						
G&NS	音楽	映画	ET&S		I&SS	金融

## DX事例

インテリジェントビジョンセンサーIMX500を使用したローマ市のスマートシティトリアルプロジェクト

AIセンサーを使ったDX化プラットフォームにより、開発・導入を手掛ける提携先企業とともに、さまざまなDX化を推進し、社会課題の解決をサポート。

インテリジェントビジョンセンサーの積層構造イメージ



### ロジックチップの主な搭載機能

- ✓ 通常のイメージセンサー信号処理
- ✓ 画像処理を行う ISP
- ✓ AI 処理に特化した独自の DSP
- ✓ AI モデルを保持するメモリー

➡ 高性能プロセッサや外付けメモリー不要

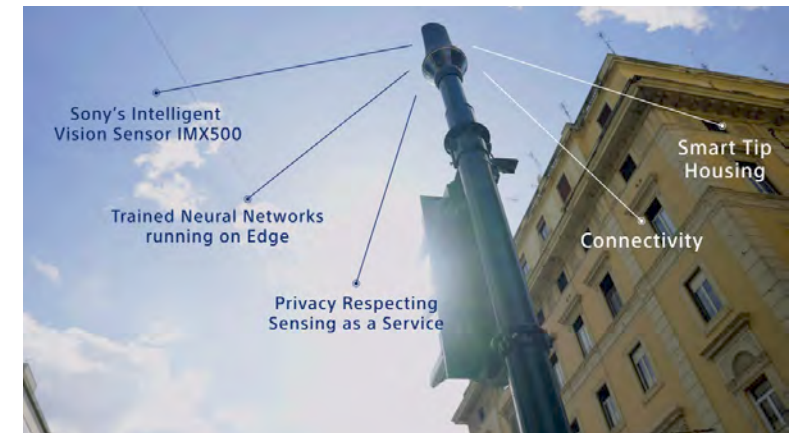
### 大都市における課題：

- 渋滞による混雑・大気汚染
  - 歩行者の安全確保

イタリアのローマ市では、駐車場モニタリングで駐車スペースの空き状況を把握し、空車情報を知らせることで交通量を減らす、公共交通機関を最適化する、歩行者の安全をサポートするといった実証実験を実施。



ローマ市による社会課題を解決するための実証実験を実施中



# Sony AI

## 研究と実践 の融合



人類の想像力と創造性を解き放つAIの創出：  
AI・ロボティクス領域の技術開発・ビジネスへの導入

[About - Sony AI](#) より

# ソニーが目指すAI倫理の方向性

責任ある  
AIによる  
競争優位性の  
確立

AIリスクの  
評価と低減

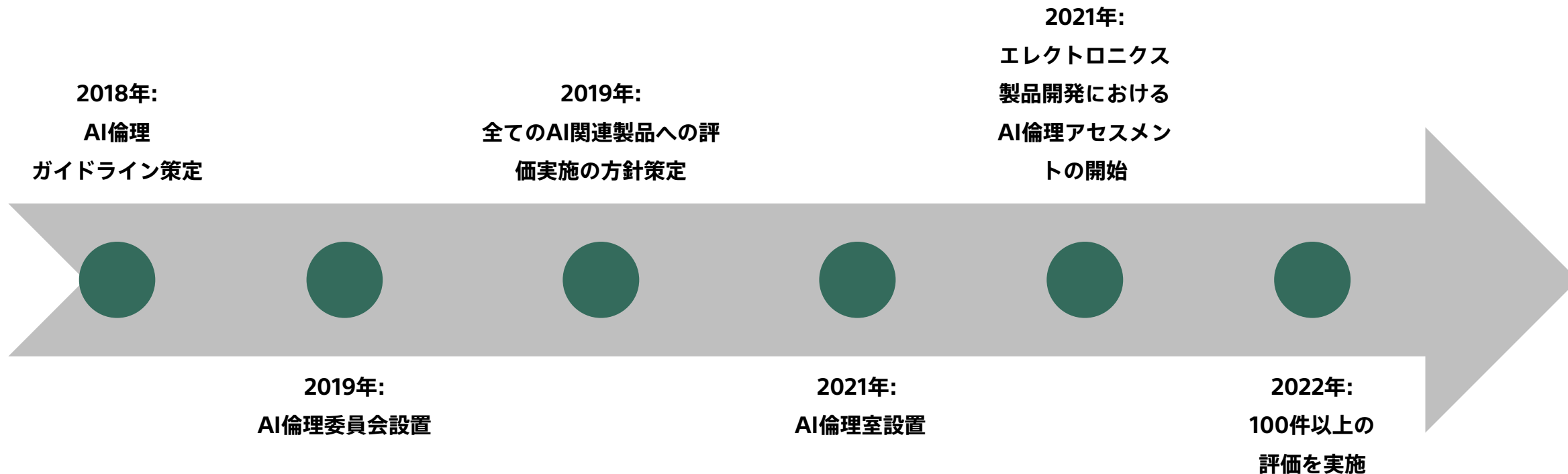
すべての人に  
配慮した製品  
づくり

AI倫理に  
おける  
グローバル  
リーダー

# ソニーのAI倫理への取り組み（原則から実践へ）

ソニーグループAI倫理ガイドライン(2018)	ソニーの全ての役員および従業員がAIの活用や研究開発を行う際の指針
ソニーグループAI倫理委員会(2019~)	ソニーにおけるAIの利活用が上記ガイドラインに沿っているか、事前に審議し必要な提言、サポートを行う組織
教育・啓発活動(2019~)	e-learning, 社内技術研修、社内フォーラムなどによる教育啓発
AI倫理ガイドラインを遵守する為のアセスメント(2021~)	AI倫理ガイドラインを遵守するためのアセスメントプロセスを、エレクトロニクスの品質管理システムの文書として発行、施行
技術開発	AI倫理をサポートする技術開発 <a href="https://ai-ethics.sony.com/en/responsible_ai.html">https://ai-ethics.sony.com/en/responsible_ai.html</a>
外部連携	政府、団体、NPO等との連携、多様な社外プラクティス参照、専門家アドバイスの入手及び社内展開、社会的貢献
情報発信（Website, 講演等）	<a href="#">ソニーグループポータル   AI Initiatives - ソニーグループのResponsible AIへの取り組み (sony.com)</a>

# ソニーのAI倫理に関するあゆみ





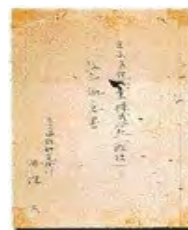
# ソニーグループAI倫理ガイドライン

## ソニーグループAI倫理ガイドライン

- 前文
- 適用範囲
- 定義
- 指針の見直し

1. 豊かな生活とより良い社会の実現
2. ステークホルダーとの対話
3. 安心して使える製品・サービスの提供
4. プライバシーの保護
5. 公平性の尊重
6. 透明性の追求
7. AIの発展と人材の育成

理念



設立趣意書



ミッション  
ビジョン\*



ソニーグループ  
行動規範



\*ソニーグループのPurpose & Valuesをうけて更新

ソニーが目指す「在るべき姿」

整合性



ASILOMAR  
AI PRINCIPLES



Partnership on AI  
TENETS



人工知能学会  
倫理指針



総務省  
AI開発ガイドライン

社外のAI関連指針など参考文献

\*ガイドライン策定当時 (2018)のソニーグループのミッション ビジョン

# ソニーグループAI倫理ガイドラインの構成

法令、ソニーの規則・方針の遵守および誠実で倫理的な事業活動

1. 豊かな生活とより良い社会の実現



社会に対して責任を果たす、信頼を得る

2. ステークホルダとの対話

6. 透明性の追求

信頼できる製品・サービスを作る

3. 安心して使える商品・サービスの提供

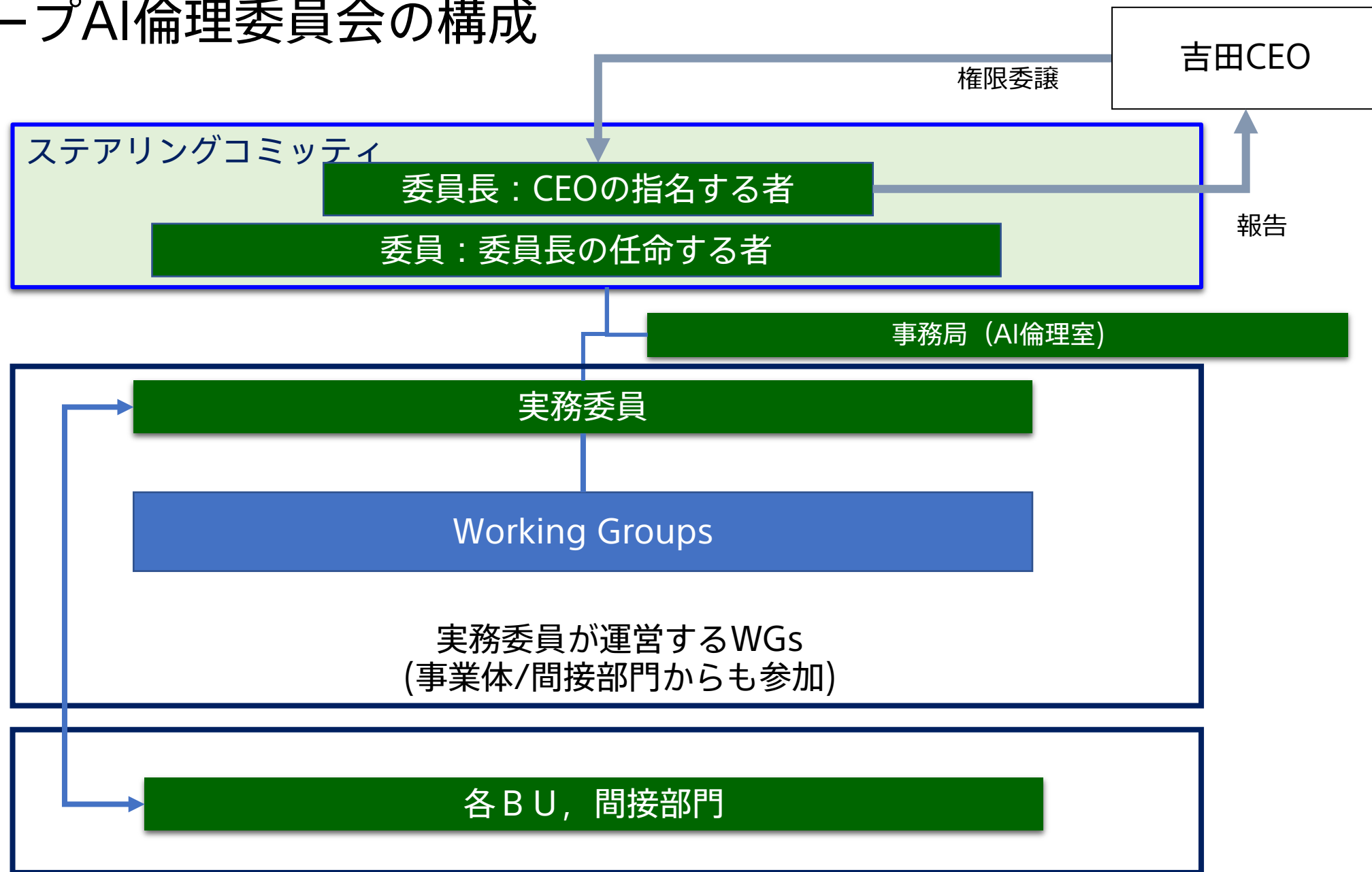
4. プライバシーの保護

5. 公平性の尊重

AI時代の人材育成とイノベーション創出

7. AIの発展と人材の育成

# ソニーグループAI倫理委員会の構成



# 教育と啓発：AIを活用し社会の発展に寄与するために

事業部門におけるAI倫理アセスメント実務者に向けたトレーニングコース

グループ社員向け eLearning配信  
AI倫理とはなにか、ソニーグループAI倫理ガイドライン概略、データコンプライアンス概略

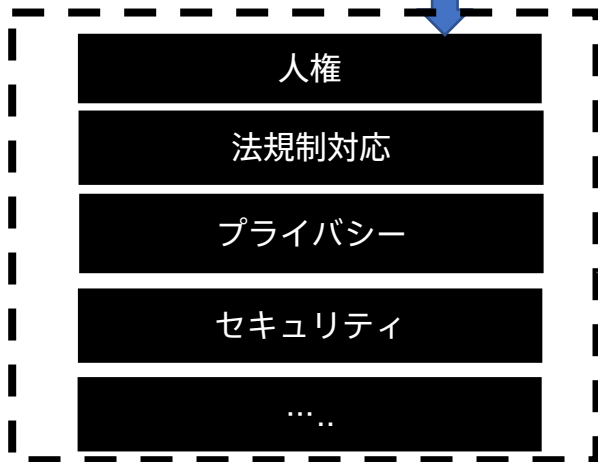
シンポジウム  
対談、  
専門家による講演会

社内ポータルによる  
情報共有、情報発信

コーポレートWebによる発信と  
外部コラボレーション

# AI倫理アセスメントプロセス：AI Ethics by Design

フェーズ



- ソニーのエレクトロニクス製品・サービスにおけるAI特有の倫理（AI品質を含む）をQMSに基づき確認。
- アセスメント用ツールの整備

既存の他規則・アセスメントと連携し、ソニーグループAI倫理ガイドラインの遵守を確認。

エレクトロニクス系を1歩目とし、金融、エンタテインメントに展開。

# ソニーのAI倫理への取り組み（原則から実践へ）

ソニーグループAI倫理ガイドライン(2018)	ソニーの全ての役員および従業員がAIの活用や研究開発を行う際の指針
ソニーグループAI倫理委員会(2019~)	ソニーにおけるAIの利活用が上記ガイドラインに沿っているか、事前に審議し必要な提言、サポートを行う組織
教育・啓発活動(2019~)	e-learning, 社内技術研修、社内フォーラムなどによる教育啓発
AI倫理ガイドラインを遵守する為のアセスメント(2021~)	AI倫理ガイドラインを遵守するためのアセスメントプロセスを、エレクトロニクスの品質管理システムの文書として発行、施行
技術開発	AI倫理をサポートする技術開発 <a href="https://ai-ethics.sony.com/en/responsible_ai.html">https://ai-ethics.sony.com/en/responsible_ai.html</a>
外部連携	政府、団体、NPO等との連携、多様な社外プラクティス参照、専門家アドバイスの入手及び社内展開、社会的貢献
情報発信（Website, 講演等）	<a href="#">ソニーグループポータル   AI Initiatives - ソニーグループのResponsible AIへの取り組み (sony.com)</a>

# SONY

SONY is a registered trademark of Sony Group Corporation.

Names of Sony products and services are the registered trademarks and/or trademarks of Sony Group Corporation or its Group companies.

Other company names and product names are registered trademarks and/or trademarks of the respective companies.